

34 組御遠忌通信

今、いのちがあなたを生きている

第6号

2010年7月15日発行

— 宗祖としての親鸞聖人に会う —



御遠忌に寄せて



常光寺門徒
植田 周助

来^{らい}年^{ねん}七^{しち}五^ご〇^{まる}回^{かい}の御^ご遠^{えん}忌^きを^{むか}え^るこ^とは^この^じ代^{だい}に^{せい}生^{せい}を^うけ^た者^{もの}と^{して}こ^の上^うな^い喜^{よろこ}び^で
す。思^{おも}い^お起^おこ^せば^い今^{いま}か^ら五^ご〇^{まる}年^{ねん}前^{まへ}の^{しち}〇^{まる}回^{かい}
の御^ご遠^{えん}忌^きの^{こと}を^{よく}憶^{おぼ}え^てい^ます。そ^の前^{まへ}
年^{ねん}、母^{はは}が^た他^た界^{かい}し^て常^{じょう}光^{こう}寺^じさ^んで^そう^ぎを^おこ^な
した。当^{とう}時^じ二^に五^ご才^{さい}の^わた^しは^{しち}〇^{まる}回^{かい}御^ご遠^{えん}忌^きの^ポ
ス^ターに^せつ^せつ^して^お親^{しん}鸞^{らん}聖^{しょう}人^{にん}の^{こと}を^おも^い起^おこ^し
ました。両^{りょう}親^{しん}共^{ども}あ^まり^{しん}心^{しん}深^{ふか}い^{ほう}方^{はう}で^はな^かつ
た^ので^その^こ子^こ供^{ども}と^{して}は^なら^ず習^なら^ず性^{しょう}で^ご多^た分^{ぶん}に^漏
れ^ず無^む関^{かん}心^{しん}で^した。

しかし母^{はは}の^し死^しに^ち直^ち面^{めん}して^し触^{しょく}発^{はつ}さ^れ、親^{しん}鸞^{らん}聖^{しょう}
人^{にん}の^{こと}を^し知^しり^たく^なり^吉川^{よしかわ}英^{えい}治^じの[「]親^{しん}鸞^{らん}[」]と
「歎^{たん}異^い抄^{しょう}」を^よみ^ました。何^{なん}と^も筆^{ひつ}舌^{げつ}に^かた^い難^{がた}い^感
感^{かん}

動とシヨックを受けました。そして我が家が門徒衆であることに縁を戴きました。私は青春の苦悩のなかでキリスト教に救いを求めて教会にも通いましたが今一つ納得が行かず信仰心が芽生えませんでした。しかし「歎異抄」に接し安心立命が得られ、その教えに帰依する決心が出来ました。

その後仕事にかまけてお寺にもご無沙汰致しておりましたが十年前常光寺さんの勉強会に参加させて頂き、今は亡きご住職の講義に接し何よりも心の糧になり、親鸞聖人の教えをよく理解させて頂きました。今は聖人の教えを信じてたとえ地獄に参ろうとも構わないと言いう心境です。

私事で恐縮ですが昨年五月、金婚式を迎えられた幸せな夫婦の仲間入りが出来ました。

しかし妻は四年來寝たきりの状態です。在宅で老老介護を四六時中行っており、妻は私が居なくなるとは一日たりとも生きていません。私は頼りにされて、いることに生甲斐を感じて、現実を甘受し張り切って生きておられます。これも親鸞聖人の教えがあればこそ力強く生きられるのだと有難く感謝しております。

二二六二年親鸞聖人が示寂されて七五〇年、その教義は現代にも燦然と輝き苦悩する現代人に歎異抄は幅広く読まれていっていると聞きます。また歴史の中では伊勢長島門徒の信長による根切(大量虐殺)での殉教。多くの先人門徒の犠牲の中に現代の我々が存在することを思い起こし、我々は一層の精進をしなければとこの期に覚悟する次第です。

哲学者梅原猛氏は「教行

信証には近代を乗り越える思想が含まれている、近代真宗学を生んだ東本願寺がやがてそれを超えるような超近代的真宗学を生み出すことを期待する」と申しております。未来にも大きな希望が持てる有識者の発言に意を強くする者です。

来年の御遠忌法要には本山に参詣して全国の門徒衆と正信偈を唱和することを心から念願している者の一人であります。

平成二十二年六月 合掌

サルビアの花



常光寺准坊守 鈴木靖子

先頃、故常光寺前住職である私の父の、新潟の実家を訪れました。父の兄の妻私の伯母が八十七歳で亡く

なったためです。葬儀は父の実家である寺で行われ、そこは親鸞聖人生誕以前に建立された歴史の古い、その昔には本願寺の親戚の寺から養子をお迎えしたこともある大きな寺です。今でこそ新潟へは新幹線が通り短時間で行けるようになりましたが、以前は東京からでも四時間かかり、最後に私が行ったのは祖母の法事のあつた七年前でした。

生前父は新潟を懐かしがりました。酒や魚を、そして実家や親族達をです。それは県民性も習慣も違う遠方へ来たことからくる、単なる郷愁ではなかったようです。今でも父親のことを「おでいさま」、母親を「おたあさま」と呼び、誰に対しても平等に、常に相手を敬い思い遣り、恩義を忘れず、手厚く客人をもてなす。また助けの要る人には出来る

限りの援助をしてそれをおくびにもださない、これらすべてこの家に脈々と流れる家風、伝統、そしてある種の「品格」というものではないかと思うのです。少し前「〴〵の品格」と名のついた書籍が流行りましたが、表面的な事ではなく内面から自然とにじみ出る人間性、とでもいうのでしようか。今回亡くなった伯母の夫である父の兄はこの寺の次男で、既に亡き長男の代理を務めなければとの気概もあったのか、父への見舞いから仮通夜、先日の三回忌まで、すべての法要に遠路新潟から来てお参りしてくれました。今年九十三歳、たった一人で往復することもあったようです。これほど来たのにさらに父の葬儀の時、「最期にもう一回、敏(さとし)(私の父)に会いたかったなあ」、火葬場では「敏の煙が見たい」と言い、

建物の外を一人歩き回りました。そんな気持ちの深さや暖かさ、律儀さが、父の追懐した「故郷新潟」だったのではないかと今になって思えます。

縁あって五十年以上前に新潟から静岡の寺へ婿養子に入った父は、静岡の三十四組は仲良く互いに高め合って立派な組にしなきゃいかん、と口癖のように言い、法友会という住職の学習会を自坊で続け、組内の住職様方と親交をいただきました。今年になつて住職様達の御尽力で十年ぶりに再開される運びとなり、父はさぞ喜んでいることと思います。来年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の参拝旅行では、もし存命であったら歴史好きな父は嬉々として参拝旅行の計画を練り、いつものあの調子で組内の御住職に、この寺を見よう！と提案・強制していた

ことでしよう。五十年前の七百回御遠忌の写真には、まだまだ初々しい顔で、年配の御門徒の方々と一緒に写っています。こうやって真宗門徒は、五十年ごとの御遠忌を長きにわたって今日までつなげてきたのだなと実感します。様々な困難にもかかわらず、有名無名の先達が七百五十年間も親鸞聖人のおしえを伝えてくれ、今の時代にそれに出遭えたのは有難いこと、つまり有ることが難しいのに私達はそれに出遭えたのです。親鸞聖人が教行信証の総序で、インドの聖典やおしえに対して「よろこばしいかな 遇いがたくして今遇うことを得たり。聞きがたくしてすでに聞くことを得たり。」と言っておられるのと同様です。話は戻って、伯母の葬儀も終わり静岡へ帰る日、境内でタクシーを待つ間、従姉妹

と松の古木の話をしました。昔本堂前にあって実に見事な枝振りの印象的な大木でしたが、寿命が尽き、今ではその跡に大きな墓碑のような庭石が置かれています。従姉妹が、その松の根元にはいつも真っ赤なサルビアの花が咲いていたと言いました。ああそれだったのか！父は静岡で、いつもサルビアを裏庭に育てていたのです。今ではだいぶ茎が太くなり今年も元気に花を咲かせています。幼少時から毎日眺めていたであろう松の下、赤い花、静岡でそれを見ては、人間の品性について考えていたのか、あるいは新潟のうまい酒を思い出していたのか…。父が亡くなり二年、うちの庭のサルビアの由縁を知ったのです。



34組からのお知らせ

「34組」とは静岡から藤枝・島田に在る真宗大谷派(東本願寺)寺院の集まりです。34組では、
 同朋教室や推進員養成講座など一寺院の枠組みを超えた共同教化に主眼を置き、当該地域の
 ご門徒を中心対象に様々な教化活動に取り組んでいます。34組の具体的な活動については、
 当通信または各ご寺院にてお知らせしています。皆様のご理解と、ご参加をお願い申し上げます。

公開講座 (入会金不要)

「歎異抄」を読む

親鸞の言葉に聞く



最も読まれ続けている仏教書の一つ「歎異抄」を通して親鸞の言葉にふれ、現代に生きる私たちの問題を明らかにしていきます。親鸞について、また「歎異抄」がなぜ書かれたのかも解説します。

講師 一楽 真

(大谷大学教授)

- ◆受講日 9月13日(月) 15:00~16:30
- ◆受講料 1,500円
- ◆持ち物 歎異抄(岩波文庫) 当日会場にて販売いたします

(いちらくまこと) 1957年、石川県生まれ。大谷大学文学部真宗学科卒業、大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。現在、大谷大学教授。著書に、『親鸞聖人に学ぶ』『この世を生きる念仏』(東本願寺)、『大無量寿経講義一尊者阿難、座より起ち一』『四十八願概説一法蔵菩薩の願いに聞く一』(文栄堂)など。論文に、「顕真実教の明証」「如来二種の回向」「蓮如における王法」など。

*今後の予定

12月 6日(月) 第1章 人間の願いと阿弥陀仏の本願

お問い合わせ・お申込は

SBS 学苑 パルシェ校

〒420-0851 静岡市葵区黒金町4-9 パルシェ7F
 Tel. 054(253)1221 Fax054(255)8683
<http://www.sbsgakuen.com/>

34組寺院

静岡別院	静岡市葵区屋形町 10	054-253-1737
敬信寺	島田市旗指 3050-1	0547-37-2502
蓮生寺	藤枝市本町 1-3-31	054-641-2156
常光寺	静岡市葵区常磐町 2-4-3	054-252-8930
西敬寺	静岡市駿河区大谷 5105	054-237-5466
福泉寺	静岡市葵区大工町 4-1	054-252-3732
明泉寺	静岡市葵区上石町 3-1	054-253-1734
願勝寺	静岡市葵区車町 50	054-253-3665
真勝寺	静岡市葵区長沼 2-18-23	054-261-3328
明通寺	静岡市清水区入江 3-6-30	054-367-0195
専念寺	静岡市清水区上 1-10-14	054-352-6445
専長寺		